

乗合交通整備の方向性について検討しました！

- 第3回策定委員会では、茅ヶ崎市の乗合交通整備の方向性について検討しました。
- それらをもとに、今後、具体的な施策等を検討することとします。



茅ヶ崎市のバス路線網の課題は？

- 第3回策定委員会（10月9日（木））では、乗合交通整備の方向性の検討を行うにあたって、まず、茅ヶ崎市のバス路線網の大きな2つの特徴と課題を確認しました。

■ ■ ■ 茅ヶ崎市のバス路線網の特徴と課題 ■ ■ ■

特徴(1) バス路線の多くが茅ヶ崎駅を起終点としている。

- ⇒課題
- ・ 駅周辺の道路に非常に負荷がかかり、定時性を著しく悪化させている。その結果としてバス離れが進行し、自動車による駅への送迎（キスアンドライド）が増加し、駅周辺の混雑をさらに悪化させ、バス離れがさらに進行するという悪循環に陥っている。
 - ・ 駅前広場の交通処理能力の限界、駅周辺に多くのバスが集中するという非効率から、現在需要が多い路線や潜在需要が見込まれる路線のサービス改善（運行本数の増加など）が困難な状況にある。
 - ・ 市民からの要望が高い市立病院へバスで行く場合、一度茅ヶ崎駅で乗り継ぐ必要がある場合が多く、時間的、金銭的な負担が大きい。



特徴(2) バスが走行可能な道路が少ない。

- ⇒課題
- ・ 市内の道路網で一般的な大きさのバスが走行可能な道路が少ないため、交通空白地区*が生じている。

*交通空白地区：バスを利用できない、あるいは利用しにくい地区



乗合交通整備の方向性について検討しました！

- 策定委員会では、前頁の課題を解決するために、乗合交通整備の方向性として、以下のよう基本的な考え方について議論しました。
- 次回以降の策定委員会では、これらの基本的な考え方に基づき、具体的な施策等について検討を進めることとなりました。

■ ■ ■ 基本的な考え方 ■ ■ ■

1

バスターミナルの設置

バスターミナルを設置する。これによって、駅周辺での集中を緩和して定時性を確保する。また、バスの効率的運用により、市内全体での運行本数を増やす。

2

幹線と支線の設定

路線網に幹線と支線を設定する。幹線は運行頻度を高め、早く確実に輸送する。一方、支線は交通空白地区を解消し、地域を循環、市立病院と連絡する。

■ ■ ■ 茅ヶ崎市における乗合交通整備の方向性についての意見 ■ ■ ■

幹線と支線の整理について

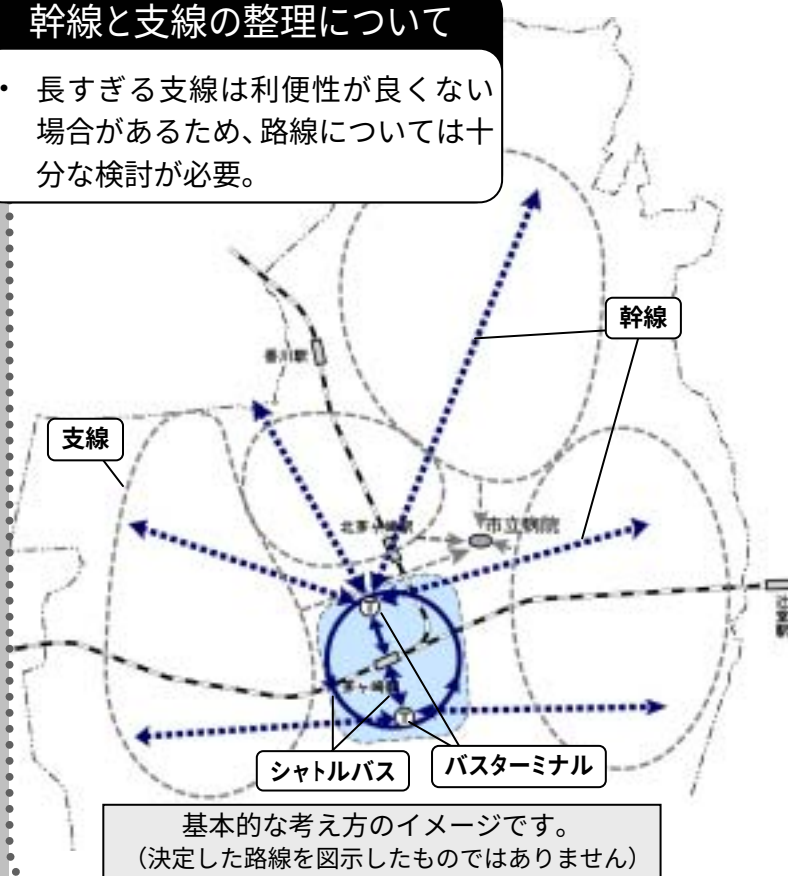
- ・ 長すぎる支線は利便性が良くない場合があるため、路線については十分な検討が必要。

バスターミナルの設置について

- ・ 乗り継ぎによる金銭面での負担感を軽減するための工夫が必要。
- ・ 目的地まで2度以上の乗り継ぎがなく行くことができるような工夫が必要。
- ・ ターミナルの数は1つに限らず、小さいものを複数作るなど柔軟な対応が必要。
- ・ バスの利便性が下がり、バス以外の交通手段（自家用車など）への転換が進むことがないような工夫が必要。

その他

- ・ 駅周辺では、公共交通や歩行者を優先し、混雑を解消するために、新たな交通規制についても検討が必要。
- ・ 効果や不具合の検証のための実験が必要。



茅ヶ崎市都市部都市政策課

〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1丁目1番1号

TEL 0467-82-1111 (内線 2503・2504)

FAX 0467-57-8377